

令和4年度優良PTA神奈川県教育委員会表彰 受賞団体「PTAの取組」

番号	団体名	特色ある取組
1	よこはましりつ みなみかんだいじ しょうがっこう 横浜市立南神大寺小学校PTA (保護者と教職員の会)	保護者と自治会・町内会が様々な場面で協働して登下校時の児童の見守り活動を実施しているほか、「自転車教室」等の交通安全に係る活動に尽力し、子どもたちの安全を守る活動を積極的に行った。また「読み聞かせボランティア活動」では、活動方法を工夫して、コロナ禍であっても実施し、子どもたちの学習活動に寄与した。
2	よこはましりつ まつもとちゅうがっこう 横浜市立松本中学校PTA	無観客で行われた体育祭の動画を保護者向けに紹介するなど、withコロナを意識し、生徒と保護者が安心して参加できる活動を企画・実施した。地域との情報交換や協議を行ってコロナ後に向けた協力体制の維持に努めたほか、広報誌を活用して子どもたちの様子を地域に知らせた。また、学校運営協議会での意見交換に積極的に参加し、子ども達の日頃の姿を伝えた。
3	よこはましりつ おかしやがっこう 横浜市立さちが丘小学校PTA	農業体験授業で、保護者と子どもが農業の楽しさや苦勞の体験を共有できるように、草刈り等の補助活動を行った。サークル活動も活発に行われ、保護者の交流が有意義に行われている。また、専門的な知識をもった保護者が外部講師として学校に協力することで、より深みのある学習体験を支援する活動を行った。
4	よこはましりつ しらね しょうがっこう 横浜市立白根小学校PTA	集団登校についてアンケートを実施し、より安全安心な通学について、保護者の考えを明確にしたことにより、登校時の改善点について検討できる素地を整えた。地域とPTAが協力し「菜の花ガーデンプロジェクト」を発足し、菜の花の花壇づくりを行った。また、ICTツールの導入に取り組み、保護者からの意見収集等を行うなど効率化を進めた。
5	よこはましりつ なかざわしょうがっこう 横浜市立中沢小学校PTA	子どもたちの思いに寄り添うため、保護者も黙食を体験する会を実施し、普段の会食の意義を再確認できたことと好評を得た。また、連合町内会や子供会、登下校の見守りボランティアの方々との情報交換を密に行ったことをきっかけに、PTAが中立的な立場のコーディネーター役として地域の各種団体の想いを整理することができ、大きな成果を上げた。
6	よこはましりつ こまばやししょうがっこう 横浜市立駒林小学校PTA	人のつながりを前提としつつも、ICT推進を軸とした運営に取り組んだことにより、負担軽減等の成果を得た。PTA専用のホームページを作成し、日々の活動やイベント報告等を行い、地域・学校・保護者が協調していくための手段として好評を得ている。オンラインでのイベントもを行い、各家庭での親子の交流の機会を作った。
7	よこはましりつ しんよしだ しょうがっこう 横浜市立新吉田小学校PTA	全家庭参加型PTAを目指し、すべての家庭に児童の見守りや学校行事の手伝い、ボランティアの募集を行った。また、学校と連携したPTA主催のイベントを毎年開催し、周知をメールで行うなどリアルタイムの情報発信を進めている。創立50周年記念の取組として、学びを通して地域とつながる活動を4年計画で推進し、児童、保護者、地域の方からの好評を得た。
8	よこはましりつ ぐみさわちゅうがっこう 横浜市立汲沢中学校PTA	保護者、生徒、地域の専門家と協力し、学校の環境美化推進のため、ガーデニングを実施した。「持続可能なPTA活動」を模索し、これまで培ってきたものを今後引き継ぐことを念頭においての活動を行った。SNSアカウントを作成し、業務連絡だけではなく、制限リサイクルの在庫情報などの情報発信にも活用した。
9	よこはましりつ ほんごうしょうがっこう 横浜市立本郷小学校 保護者と教職員の会 (PTA)	PTA活動に保護者が楽しく、無理なく参加できるよう、また社会や各家庭、学校の状況変化に合わせ、寄せられた意見を検討し、体制の見直しについて臨機応変に対応した。Webアンケートの実施により、自主的な参加を促進できた。また、保護者と地域の方で構成される図書ボランティアでは、読み聞かせのほかに児童参加型の掲示など、読書を促す多くの工夫を行い、子どもたちの学びを支えた。
10	かわさきしりつ にしたかつ ちゅうがっこう 川崎市立西高津中学校PTA	学校や地域住民と連携し、生徒の体験学習を目的とした「トライやるDAY」を開催した。生徒が地域とのつながりを感じる機会となった。生徒が教育の機会に恵まれない世界の子ども達を知り、自分達の環境への感謝と学校生活を考える機会にして欲しいと、毎年、PTA・おやじの会・生徒会が連携して使用済ランドセルをアフガニスタンの子ども達に贈っている。
11	かわさきしりつ おげちゅうがっこう 川崎市立菅中学校PTA	オンラインツールを活用し、効率的・効果的なPTA活動を行っている。また、保護者からPTA総会で予算や活動内容ははじめとする質問が挙がったことをきっかけにして、PTA内部の事務や委員会活動等の大幅な見直しを行い、限りある予算や時間をどのように有効に活用できるかを検討した。
12	さがみはらしりつ さく ぐちしょうがっこう 相模原市立作の口小学校PTA	保護者がオンラインを活用して行事の参加ができるように、PTAの学校支援費でデジタル放送の機材を購入し、運動会や音楽朝会などの配信を行った。保護者からも好評を博し、コロナ禍での教育活動を持続可能なものにした。また、家庭教育支援として、休日に家庭みんなで好きな本を読み、読んだ本について家庭で話す「家読にチャレンジ」を実施した。
13	さがみはらしりつ つるぞのしょうがっこう 相模原市立鶴園小学校PTA	例年、学校・保護者・地域のつながりを大切にしたPTA行事「ドリームフェスティバル」を開催しているが、コロナ禍においても子どもたちのためになるようにと代替企画を練り、開催した。子どもたちが「友だち・保護者・地域のつながり」を実感できる機会を提供することができた。
14	さがみはらしりつ なみき しょうがっこう 相模原市立並木小学校PTA	会員の意見や要望を取り入れながら、コロナ禍でのPTA行事を見直し、活動を中止するのではなく方法を工夫することで開催できるよう取組を進めた。特に、ふれあい祭りについては、対面での開催ではなく、児童が保護者と家庭で楽しむことができるよう、「もの作り体験」を企画・実施した。

令和4年度優良PTA神奈川県教育委員会表彰 受賞団体「PTAの取組」

15	さがみはらしりつ なかざわちゅうがっこう 相模原市立中沢中学校PTA	コロナ禍でも小規模校の良さを生かし、活動できることを推進した。各委員会の役員決めでは、毎年快く引き受ける雰囲気があり、活動も協力体制ができています。特に学校祭では、保護者の見学参加を可能とするため、受付や校内の見回りなどを各委員会が分担し、密を避け、安全安心な学校行事が実現できた。
16	さがみはらしりつ やえい ちゅうがっこう 相模原市立弥栄中学校PTA	「できるときに、できる活動を」を令和3年度の目標として、無理をせずにできる活動を模索して活動した。PTA本部が中心となり、地域の自治会の方も参加して行われる中学校周辺の環境整備と緑化作業「クリーングリーン大作戦」は、6月の休日開催にもかかわらず300名ほどが参加した。
17	よこすかしりつ すわ しょうがっこう 横須賀市立諏訪小学校PTA	交通量、危険箇所が多いため、地域の企業部会や警察署、交通安全ボランティアと連携協力し、「パトロールエンジェルス」として登校時の安全指導を行っている。全ての保護者ができる時にできることを選び活動できるよう、年間を通じてサポーター制度を活用した。誰が委員になっても分かるように活動内容や手順を資料に残すなど、PTA活動を円滑に行うための工夫をした。
18	よこすかしりつ ぼうようしょうがっこう 横須賀市立望洋小学校P.T.A	児童のために教職員と話し合いを重ね、感染防止対策を講じ、校内ビデオ放送を用いてクイズ大会を企画・開催した。また、家庭でもできる取組としてWebベルマークの収集の紹介や、参観人数に限られた運動会の様子を広報誌に掲載するなど、できる時にできることをという方針で充実したPTA活動を行った。
19	よこすかしりつ さかもとちゅうがっこう 横須賀市立坂本中学校PTA (保護者と教職員の会)	各学級からの選出であった常置委員を廃止し、より多くの会員が負担なく少しでも参加できるように、必要に応じてボランティアを募って活動する形に変更した。また、花手水やポータブルスピーカーの購入など、コロナに配慮しながら生徒の生活環境を整えるためにできることを模索するなど、常にPTAが活動しやすい環境づくりのための工夫をした。
20	かまくらしりつ だいいちしょうがっこう 鎌倉市立第一小学校PTA	会員に対して、PTA活動についてのアンケートを行い、日頃感じていることについて、率直な意見を集めた。アンケートは、紙媒体の他、Webアンケートでの回答もできるようにしたところ、非常に高い回収率を得た。また、運営委員会をオンラインで開催したことも時代に合った参加しやすい活動の形となった。
21	ふじさわしりつ おおば しょうがっこう 藤沢市立大庭小学校PTA	藤沢市の湘南大庭地区には、小・中学校が合わせて6校あるが、大庭小学校はPTA組織がある唯一の学校であり、長年にわたりPTAを運営・維持してきた。その中で、課題であった一人一役制による活動を、コロナ禍による活動制限を機に、保護者ボランティアを募る形の活動にする等、新たな活動の方法を模索し、よりよいPTAを目指して改革を進めた。
22	ちがさきしりつ まつなみちゅうがっこう 茅ヶ崎市立松浪中学校 ほごしや きょうしよくいん かい 保護者と教職員の会(P.T.A)	地域コミュニティ制度「茅ヶ崎市まちぢから協議会」や学校運営協議会などに参画し、学校・地域と一体となって生徒の健全育成を行っている。防災地区マップづくり等の校外授業への参加、学校行事の感染防止対策補助、会員が気軽に参加できるワンデーサポーターの導入等の学習活動支援は、教職員の負担軽減に成果を上げている。
23	ずしりつ ずし ちゅうがっこう 逗子市立逗子中学校PTA	ICTを活用して、子育て・ヨガ呼吸法・性教育をテーマにした保護者向けオンライン講演会(録画視聴あり)を3回開催した。また、「オンライン保護者おしゃべり会」を3回開催し、会員の交流を図った。また、PTAのホームページを作成し、学校運営のメール配信システムや、PTAのWebアカウントを利用し、情報発信量を増やすとともに、紙面での配付回収の負担を軽減した。
24	あつぎしりつ あつぎ だいに しょうがっこう 厚木市立厚木第二小学校PTA (保護者と教職員の会)	学校運営協議会との協働で、基礎学力の定着を目的にした事業「九九名人プロジェクト」を立ち上げた。ボランティアを募り、約1か月実践し、新たな視点で活動の幅を広げ、児童の学習成果につなげた。「DAI-2フェスタ」は外部講師を呼ばない代わりに各委員会が中心となり、学年ごとに体験活動を行い、感染症対策をしながら事業を工夫して実施した。
25	えびなしりつ なかしんでんしょうがっこう 海老名市立中新田小学校PTA	ふれあいパトロール委員会を設置し、学校や地域と月に1回情報交換を行うなど連携を図りながら、朝の立哨、放課後のパトロールを実施している。地域の交通安全ボランティアと協力し、低学年を中心に交通安全教室を行っている。「なか小もちっ子広場」において、稲作が盛んな地域の特色を生かし、規模を縮小して、PTAが学校・地域と連携し、児童の餅つき体験を実現することができた。
26	ざましりつ なかはらしょうがっこう 座間市立中原小学校PTA	読み聞かせボランティアが、1～6年生の全学級で、年間を通じて月1回、朝の時間に10分間の本の読み聞かせを行い、子どもたちの読書の関心を高めることができた。PTA行事をコロナ禍で見直し、本部役員が各委員会との調整連絡を行った。なかはら生活委員が中心となり、学校行事運営の手助けをした。また、広報委員も年2回広報誌を発行し、分かりやすい紙面づくりを行い、好評を得た。
27	あいかわ ちゅうりつ すがわらしょうがっこう 愛川町立菅原小学校 ふぼ きょうしよくいん かい 父母と教職員の会 すがわら しょうがっこう (菅原小学校PTA)	創立40周年の記念行事として、PTAと地域の方の協力により、航空写真を撮影し、児童が書いた将来の夢等のメッセージカードを風船につけて飛ばした。「絆☆みんなて育てよう菅原っ子～学校・家庭・地域が連携し、子どもたちを育てる～」をテーマに、時代と地域に適した活動の在り方を探り、国際交流委員会の設置、役員の定数削減などの工夫をしながら、参加しやすく、ともに楽しめる活動を展開した。
28	ひらつかしりつ そうぜんしょうがっこう 平塚市立崇善小学校PTA	令和3年度の活動方針を『つなごう手と手 子どもたちの未来のために』とし、常任委員会をオンラインで開催したり、学習活動を支援するためのサポーター活動を都度募集したりするなど、参加しやすいPTA活動の構築に努めた。また、地域に親しまれている「崇善カルタ」の改訂作業を通じて、学校と地域が協働し、つながりを深めた。

令和4年度優良PTA神奈川県教育委員会表彰 受賞団体「PTAの取組」

29	ひらつかしりつ おおすみちゅうがっこう 平塚市立大住中学校PTA	地域への広報紙等の配付・回覧をとおして、PTA活動の具体的な内容を発信し、地域の方や会員から、より深い理解・協力が得られるよう努めた。夏休みには地域の資源ゴミ回収立ち会いに、生徒・保護者・教職員が参加し、その収益の一部で生徒の部活動支援や防災備蓄品と防犯グッズの用意をするなど、家庭・学校・地域が連携・協力して生徒の安心・安全な学校生活を願い、PTA活動を行った。
30	はだのしりつ みなみしょうがっこう 秦野市立南小学校PTA	例年行っている南小バザーを「みなみっこワークショップ」という制作体験活動へ計画を変更し、子ども達が楽しく遊ぶことができる活動を企画した。また、ふれあい委員会主催の、保護者と教職員が参加する「学校保健安全委員会」を年2回開催し、子ども達を健やかに育むことができるような学習機会を提供し、保護者と教職員が共に学びを深めることができた。
31	いせはらしりつ たかべ や、しょうがっこう 伊勢原市立高部屋小学校PTA	低・中・高学年の分散型で行われた運動会では、多くのPTA役員が、迷惑駐車防止の文書作成、迷惑駐車等のパトロール、受付の体温測定や入場証の確認等のサポートにあたり、子どもたちの教育活動を積極的に支援した。また、「いせはらコマチャンピオンシップ」など地域行事への参加を通じて学校や地域との連携強化を図り、家庭、学校、地域が一体となって子どもたちを健全育成する環境づくりに努めた。
32	おだわらしりつ あらたましょうがっこう 小田原市立新玉小学校 保護者と教師の会 (新玉小学校PTA)	会員へのアンケートを多用し、その結果を冊子などにまとめ各家庭に配付した。会員間や親子での対話ができるよう内容を工夫したことで、単に結果の情報共有という用途にとどまらず、組織としての一体感の醸成につながった。また、会員の要望にこたえる形で「安全確認マップ」「家庭教育の手引き」を作成した。会員と児童にとって大いに参考となり、地域住民からも高い評価を得た。
33	おだわらしりつ あしがらしょうがっこう 小田原市立足柄小学校PTA	会員が希望する活動（プロジェクト）に自由に参加できる体制を取り入れている。また、PTA日より、PTAメール、フォームなど多層的なコミュニケーション手段を用いて、会員の意見や相談、悩みを受け止めながら「子育て」に寄り添う活動を多く実施したことで、子育てのネットワークが生まれ、会員にとってPTAが心強い存在となった。
34	おおいちやうりつぞうわ しょうがっこう 大井町立相和小学校PTA	年度当初のPTA総会は、80%程度の高い出席率であり、コロナ禍において懇談会が3回中2回書面開催となった際に急遽実施したアンケートなどにも協力的に取り組んだ。また、感染症対策として人数制限を設けながら年2回「環境整備作業」を行うなど、地域協力者とともに学校を積極的に支援する活動を行い、コミュニティ・スクールの理念である「地域とともにある学校づくり」の一翼を担った。
35	かながわけんりつ あいはらこうとうがっこう 神奈川県立相原高等学校PTA	PTA活動は保護者の思いをもとにした企画が中心になりがちであるが、相原高校ではPTA活動に対して学校の主役である生徒の意見やニーズを把握するために、生徒アンケートや生徒との座談会などを実施し、保護者・教職員・生徒の三位一体での活動を行った。こうした活動を通して、生徒からPTAへの提案があるなど、双方向の活動に発展している。
36	かながわけんりつ いくた こうとうがっこう 神奈川県立生田高等学校PTA	オンラインサービスを積極的に活用し、オンライン会議を定着させ、PTA活動の活性化を図った。地区大会発表においても、配信等でその成果を発揮するとともに、発表を動画で発信して、活動を幅広く広報することに活用するなど、様々な可能性を見出そうと、前向きな姿勢が活動に表れている。
37	かながわけんりつ おだわら こうとうがっこう 神奈川県立小田原高等学校PTA	PTAの通知が家庭に届かないことがあるという身近な問題を課題として取り上げ、時代に沿った解決策を確立した。Webを利用し、イベントの申込、講演会見逃し配信、各種オンライン講座等を行うとともに、PTA専用のホームページを作成して保護者の意見を活動に生かすなど、ネット社会に順応したきめ細かな活動を行った。
38	かながわけんりつ たかはまこうとうがっこう 神奈川県立高浜高等学校PTA	PTA活動のあるべき姿を常に模索しながら、保護者と教職員が相互に協体制を確立してコロナ禍においても活動の推進を図っている。また、福祉教養コースという学校の特色を生かし、保護者対象手話教室、生徒の指導を受けた保護者による地区発表での手話通訳など、生徒の学びを实践する機会を提供することにより、生徒とのかかわりをより深めながら活動を展開した。
39	かながわけんりつ しょうなんようごがっこう 神奈川県立湘南養護学校PTA	PTA広報誌の作成や印刷、製本を地域の施設に依頼したり、地域の農家の協力を得て、畑地を借用し、生徒の活動の幅を広げたり、地域に根付いた活動をした。また、多くの行事が縮小される中、感染症対策を講じながら障害者支援に実績のある演奏家を招いての小コンサートを実施するなど、児童・生徒の余暇活動にも積極的に取り組んだ。

令和4年度優良PTA神奈川県教育委員会表彰は、令和3年度の活動内容をもとにして、各市町村教育委員会等から推薦していただいた候補団体について、県の選考委員会で審査を行い受賞決定したものです。